

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公開番号】特開 2018-184103 (P2018-184103A)

【公開日】平成 30 年 11 月 22 日 (2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-045

【出願番号】特願 2017-87583 (P2017-87583)

【国際特許分類】

B 6 0 W 20/10 (2016.01)

B 6 0 K 6/48 (2007.10)

B 6 0 K 6/387 (2007.10)

B 6 0 K 6/547 (2007.10)

B 6 0 W 10/08 (2006.01)

B 6 0 W 20/00 (2016.01)

B 6 0 W 10/10 (2012.01)

B 6 0 W 10/06 (2006.01)

B 6 0 W 10/02 (2006.01)

B 6 0 W 20/40 (2016.01)

B 6 0 W 20/30 (2016.01)

B 6 0 L 50/16 (2019.01)

B 6 0 L 15/20 (2006.01)

B 6 0 W 10/04 (2006.01)

B 6 0 W 10/00 (2006.01)

B 6 0 W 10/11 (2012.01)

【 F I 】

B 6 0 W 20/10 Z H V

B 6 0 K 6/48

B 6 0 K 6/387

B 6 0 K 6/547

B 6 0 W 10/08 9 0 0

B 6 0 W 20/00 9 0 0

B 6 0 W 10/10 9 0 0

B 6 0 W 10/06 9 0 0

B 6 0 W 10/02 9 0 0

B 6 0 W 20/40

B 6 0 W 20/30

B 6 0 L 11/14

B 6 0 L 15/20 K

B 6 0 L 15/20 Y

B 6 0 W 10/00 1 0 2

B 6 0 W 10/00 1 4 8

B 6 0 W 10/02

B 6 0 W 10/08

B 6 0 W 10/11

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 7 日 (2020.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エンジンと、

前記エンジンと駆動輪との間の動力伝達経路に設けられ、クラッチおよび変速ギヤを有する変速機と、

前記クラッチと前記駆動輪との間の動力伝達経路に連結されたモータジェネレータと、を備え、

前記エンジンのエンジントルクと前記モータジェネレータのモータトルクとの少なくとも一方を用いて走行する車両の制御装置であって、

前記エンジントルクを用いた車両の走行時に、前記クラッチを開放して前記変速ギヤのギヤ段を切換えて前記クラッチを締結する変速動作を実施し、かつ、前記変速動作中に前記モータトルクを前記駆動輪に付与する制御部を有し、

前記制御部は、

前記変速動作中に前記駆動輪の空転を検出している場合、前記変速動作中の所定期間は前記モータトルクを要求トルクに基づくトルクに維持し、前記所定期間の経過後に前記モータトルクを小さくすることを特徴とする車両の制御装置。

【請求項 2】

前記所定期間は、前記変速動作の開始時から第 1 の維持時間が経過するまでの期間であることを特徴とする請求項 1 に記載の車両の制御装置。

【請求項 3】

前記所定期間は、前記ギヤ段の切換え完了時から第 2 の維持時間が経過するまでの期間であることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の車両の制御装置。

【請求項 4】

前記制御部は、車速が小さいほど前記所定期間を短くすることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の車両の制御装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記所定期間の経過後に前記モータトルクを漸減することを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れか 1 項に記載の車両の制御装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記駆動輪の空転が検出されなくなった場合、前記空転が検出されなくなったときの前記モータトルクを上限トルクとして設定し、該上限トルクを超えないように前記モータトルクを制限することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 の何れか 1 項に記載の車両の制御装置。